

東証一部 6143

# 未来を創る



2017年3月期 第3四半期  
決算説明資料

2017年2月10日

**Sodick**  
株式会社 ソディック

<b>ポイント</b> .....	<b>3</b>
<b>I. 2017年3月期 3Q決算概要</b> .....	<b>4</b>
<b>II. 2017年3月期 通期業績見通し</b> .....	<b>14</b>
<b>(参考資料)</b> .....	<b>18</b>

## 2017年3月期 3Q実績

- ✓ 第1四半期において業績が伸び悩んだこと、為替レートが前年同期に比べ円高に推移したこと等もあり、売上高442億94百万円（前年同期比9.3%減）、営業利益33億46百万円（前年同期比27.7%減）
- ✓ 利益面では生産効率向上、調達コスト低減などが寄与し売上総利益率が改善。  
第3四半期以降は為替レートが円安に推移し、為替差損が縮小した結果、経常利益・当期純利益が大幅に改善。
- ✓ 北米・欧州では堅調な需要が見られたほか、中国では設備投資需要や高精度機種需要が増加しており、第2四半期以降は受注・販売ともに概ね好調。

## 2017年3月期 通期業績見通し

- ✓ 足元の受注状況も堅調に推移していることから、8月10日に修正した通期業績予想は据え置く。  
売上高611億円、営業利益53億円を見込む。
- ✓ 先進国市場においては、日本は3月に採択が予定されている補助金待ちなどの動きもあり、足踏み状況が予想されているものの、北米・欧州は自動車・航空宇宙・医療機器関連の設備投資需要が底堅く、引き続き堅調に推移する見通し。
- ✓ 中国では高精度機の需要が増加しており、引き続き好調に推移する見通し。
- ✓ 新興国市場は厳しい状況が続いているものの、タイ・インドネシアなど一部地域で回復基調が見られる。

# **I . 2017年3月期 3Q決算概要**



# 業績ハイライト

- ✓ 売上高は為替レートが前年同期に比べ円高に推移した影響等もあり減収。  
(参考：為替変動による影響 △約36億円)
- ✓ 利益面では生産効率向上、調達コスト低減などが寄与し売上総利益率が改善。  
営業利益は研究開発費の増加などもあり前年同期比では減少。

第3四半期以降は為替レートが円安に推移し、為替差損が縮小した結果、経常利益・当期純利益は大幅に改善。 (百万円)

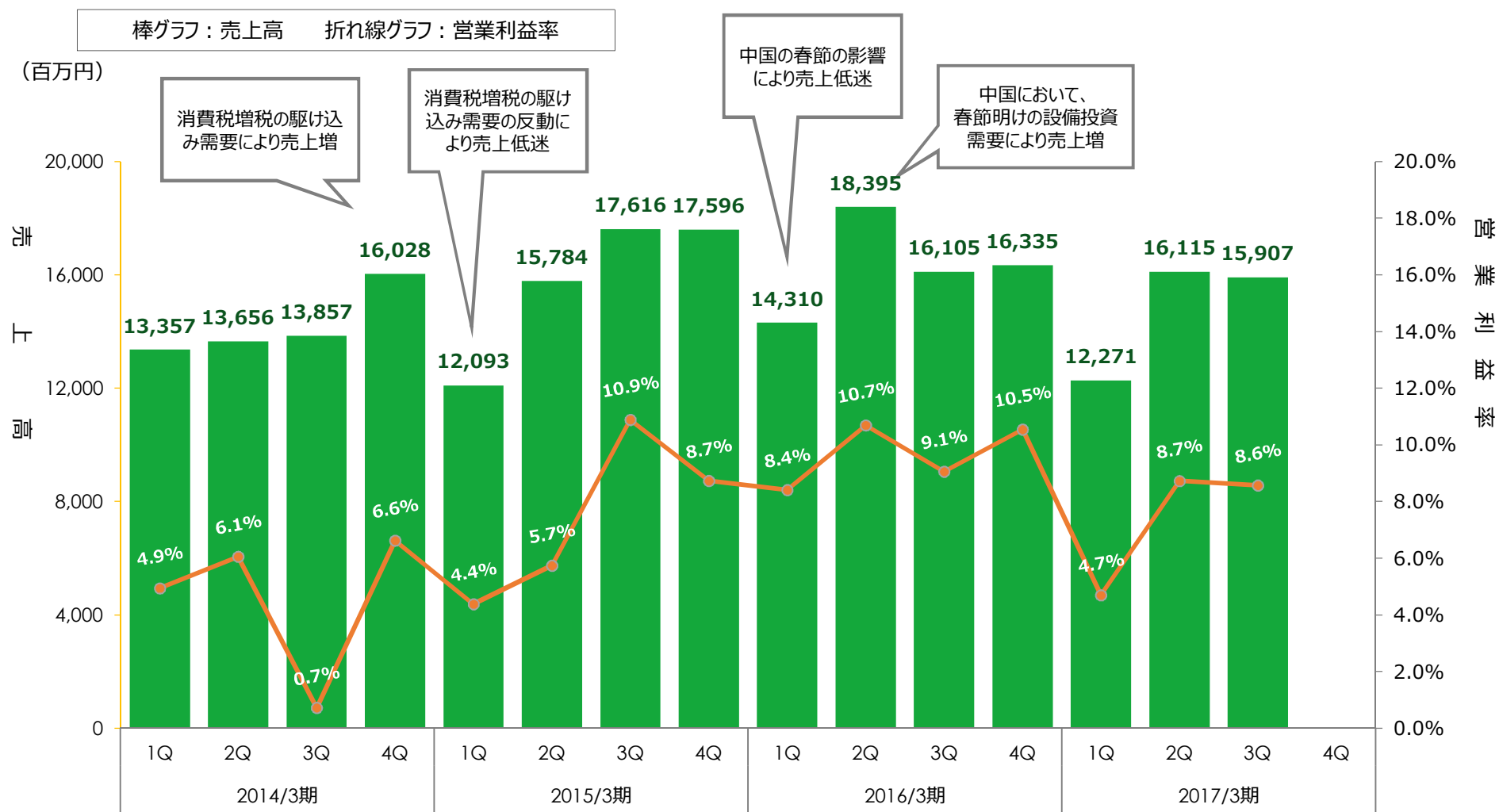
	2016年3月期 3Q		2017年3月期 3Q		前年同期比		2017年3月期 通期予想
	実績	利益率	実績	利益率	金額	増減率	
売上高	48,811	-	44,294	-	△4,516	△9.3%	61,100
売上総利益	17,532	35.9%	16,059	36.3%	△1,473	△8.4%	-
営業利益	4,630	9.5%	3,346	7.6%	△1,283	△27.7%	5,350
経常利益	4,356	8.9%	2,864	6.5%	△1,492	△34.3%	4,550
純利益	3,420	7.0%	2,488	5.6%	△931	△27.2%	3,500

期中平均 為替レート	ドル	121.74 円		106.60 円		104.19 円
	ユーロ	134.41 円		117.98 円		116.26 円
	人民元	19.31 円		16.44 円		16.00 円
	バーツ	3.51 円		3.03 円		2.96 円

※参考情報 2017年3月期3Q末 為替レート ドル：116.49円 ユーロ：122.70円 人民元：15.14円 バーツ：3.24円  
 2016年3月期末 為替レート ドル：112.68円 ユーロ：127.70円 人民元：18.36円 バーツ：3.19円

# 売上高・営業利益率推移（四半期毎）

- ✓ 当第3四半期は北米において販売が堅調だったことに加え、中国では設備投資需要や高精度機種の高まりを背景に、工作機械・産業機械の販売台数は前年同期を上回ったものの、為替水準が前期同期に比べ円高だったこともあり、売上高は目減りしている。



# セグメント別業績



(百万円)

		2016年3月期 3Q 実績	2017年3月期 3Q 実績	前年同期比	
				(額)	(率)
売上高	● 工作機械事業	36,588	31,630	△ 4,958	△13.6%
	● 産業機械事業	6,289	6,111	△ 177	△2.8%
	● 食品機械事業	2,033	2,253	219	10.8%
	● その他事業	3,900	4,299	399	10.2%
		48,811	44,294	△ 4,516	△9.3%
セグメント 利益	● 工作機械事業	5,366	4,237	△ 1,129	△21.0%
	● 産業機械事業	103	199	96	93.8%
	● 食品機械事業	292	171	△ 121	△41.6%
	● その他事業	691	663	△ 28	△4.1%
		6,454	5,271	△ 1,182	△18.3%
調整額		△ 1,823	△ 1,924	△ 100	-
営業利益 合計		4,630	3,346	△ 1,283	△27.7%

## 工作機械事業

- ✓ 国内は一部自動車関連で動きがあったものの、補助金の採択待ちの動きもあり足踏み状態が続いている。
- ✓ 北米は航空宇宙、医療機器関連からの需要が堅調。
- ✓ 欧州は自動車、航空宇宙関連は堅調だが、ロシア等で減速感あり。
- ✓ 中華圏は自動車・スマートフォン関連を中心に、高精度機種の高まりを受け、第2四半期以降は売上・受注ともに好調。
- ✓ アジアはタイ・インドネシアなど回復の兆しあり。

## 産業機械事業

- ✓ 国内は、自動車関連から車載関連、コネクタ向けの需要が好調。スマートフォン関連では、レンズなど高付加価値部品向けの需要は堅調。
- ✓ 中華圏・アジアにおいても、スマートフォン、自動車関連からの受注が好調に推移しており、足元の受注状況は過去最高水準。

## 食品機械事業

- ✓ 調理麺の品質向上のための設備投資需要あり。
- ✓ 海外からの製麺機の需要あり。
- ✓ 製麺業界以外からの機械需要あり。

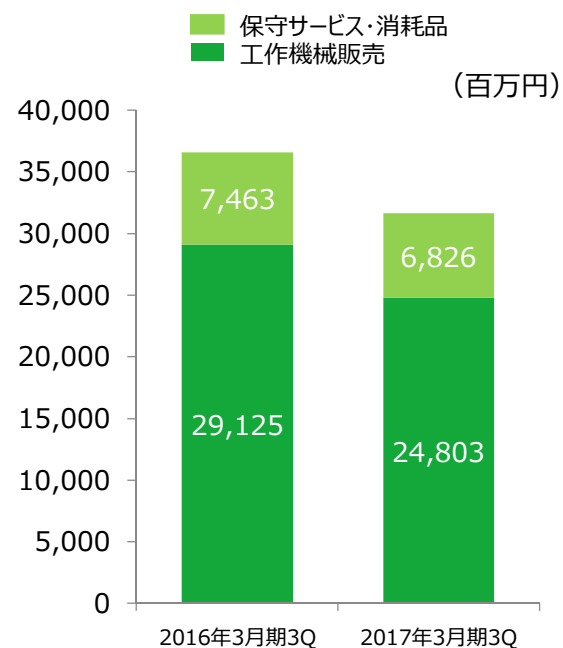
## その他事業

- ✓ 精密金型・精密成形事業及びセラミックスの販売が順調。

# セグメント別 売上高内訳

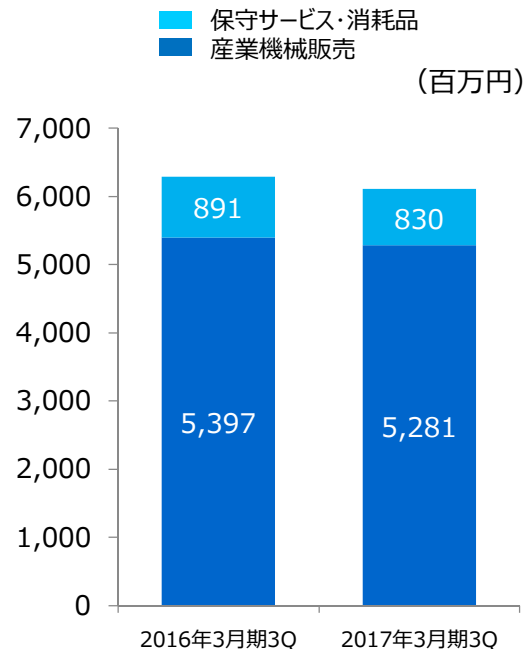
✓ 安定キャッシュを生み出す保守サービス・消耗品の売上高は20%程度を占める。

## 工作機械事業



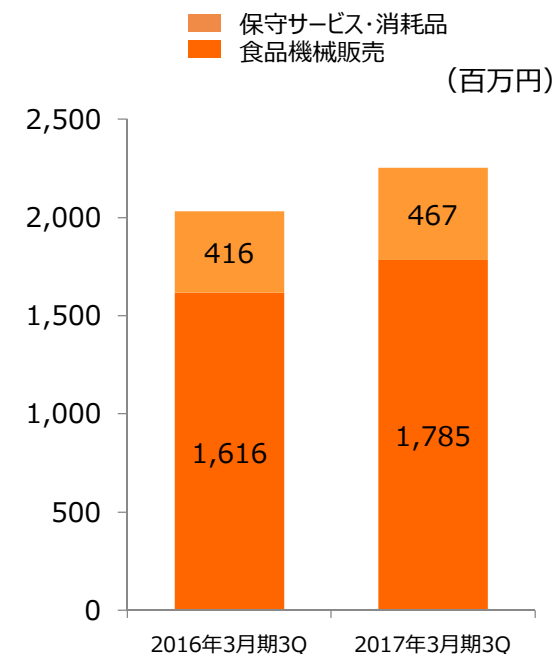
工作機械事業	2016年3月期3Q	2017年3月期3Q
工作機械販売	29,125	24,803
保守サービス・消耗品	7,463	6,826
合計	36,588	31,630

## 産業機械事業



産業機械事業	2016年3月期3Q	2017年3月期3Q
射出成形機販売	5,397	5,281
保守サービス・消耗品	891	830
合計	6,289	6,111

## 食品機械事業

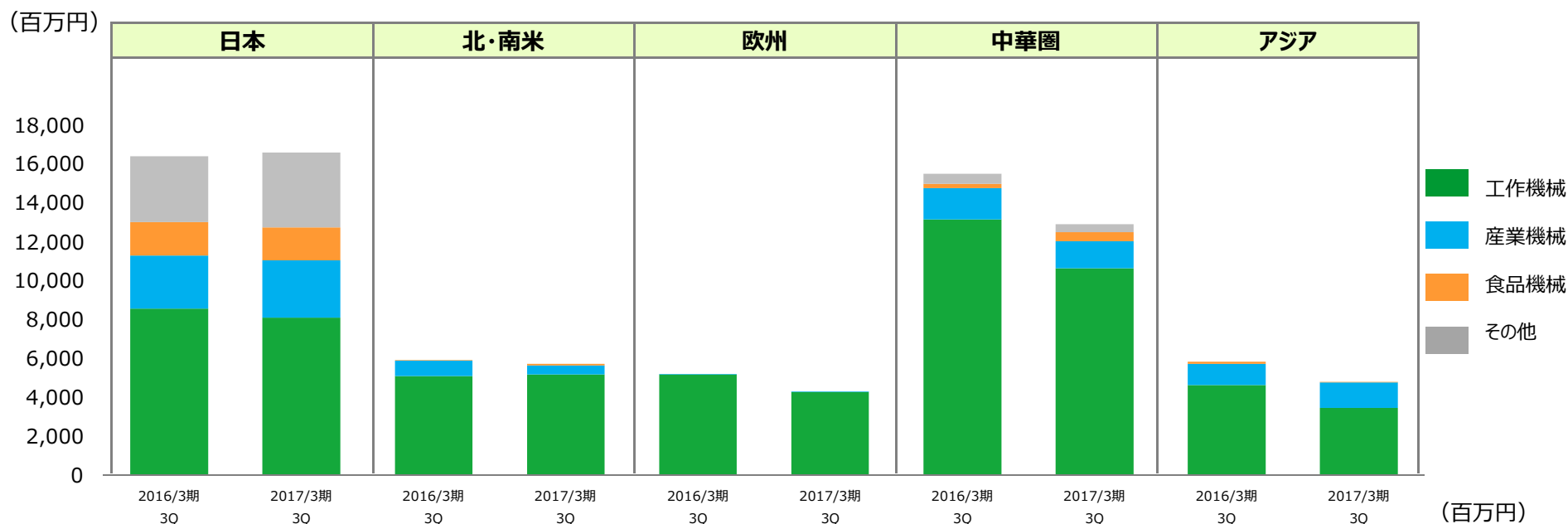


食品機械事業	2016年3月期3Q	2017年3月期3Q
食品機械販売	1,616	1,785
保守サービス・消耗品	416	467
合計	2,033	2,253



# 事業別海外売上高比率

✓ グローバルに事業を展開、海外売上高比率は62.5%。

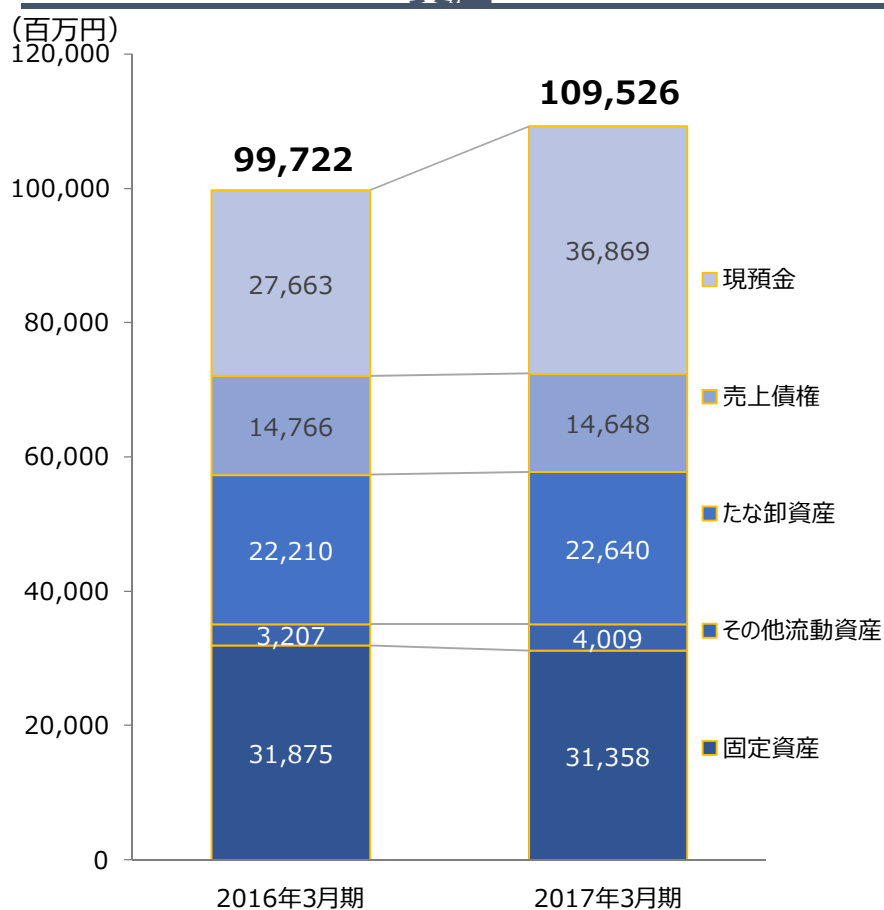


2016年3月期 3Q	日本		北・南米		欧州		中華圏		アジア		計	
工作機械	8,560	23.4%	5,095	13.9%	5,163	14.1%	13,137	35.9%	4,631	12.7%	36,588	75.0%
産業機械	2,743	43.6%	792	12.6%	49	0.8%	1,626	25.9%	1,078	17.1%	6,289	12.9%
食品機械	1,702	83.8%	3	0.1%	0	0.0%	215	10.6%	111	5.5%	2,033	4.2%
その他	3,386	86.8%	0	0.0%	0	0.0%	513	13.2%	0	0.0%	3,900	8.0%
地域別計	16,392	33.6%	5,890	12.1%	5,212	10.7%	15,492	31.7%	5,822	11.9%	48,811	100.0%
2017年3月期 3Q	日本		北・南米		欧州		中華圏		アジア		計	
工作機械	8,094	25.6%	5,172	16.4%	4,261	13.5%	10,642	33.6%	3,459	10.9%	31,630	71.4%
産業機械	2,952	48.4%	457	7.5%	3	0.0%	1,392	22.8%	1,304	21.3%	6,111	13.8%
食品機械	1,685	74.9%	90	4.0%	0	0.0%	444	19.7%	32	1.4%	2,253	5.1%
その他	3,867	90.0%	0	0.0%	0	0.0%	432	10.0%	0	0.0%	4,299	9.7%
地域別計	16,599	37.5%	5,721	12.9%	4,264	9.6%	12,913	29.2%	4,796	10.8%	44,294	100.0%
為替の影響額	-		△約7億円		△約6億円		△約21億円		△約2億円		△約36億円	

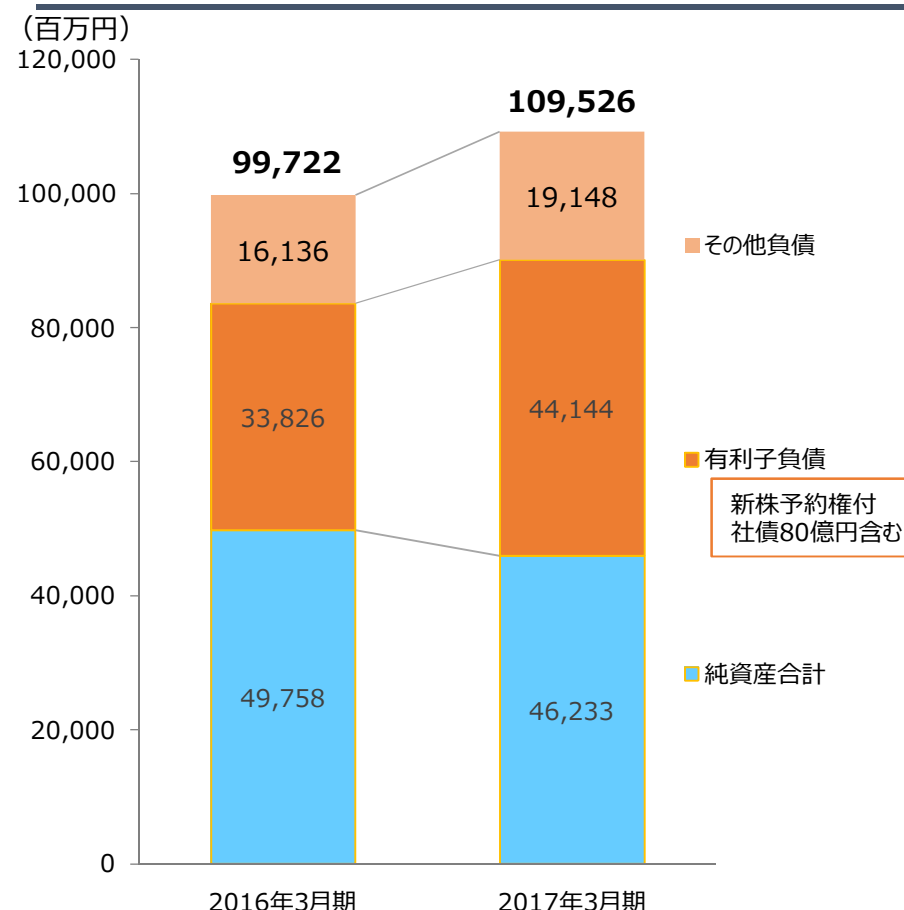
# 貸借対照表

- ✓ 新株予約権付社債にて80億円調達したことにより、有利子負債・手元現預金が大幅に増加（80億円のうち、自己株式取得に約30億円充当済、残りは研究開発費等に充当予定）。流動比率は200%以上を維持。
- ✓ 前期末に比べ為替レートが円高に推移したことにより海外子会社への出資金等の為替換算調整勘定が減少したこと、自己株取得等により純資産が減少。

## 資産



## 負債・純資産



	2017年3月期3Q末	為替レート	ドル	ユーロ	人民元	2016年3月期	為替レート	ドル	ユーロ	人民元
3Q			116.49円	122.70円	15.14円			112.68円	127.70円	18.36円
3Q										
3Q										
3Q										
3Q										

## 1 リニアモータ駆動 高速・高性能精密 形彫り放電加工機「AG40LP」販売開始

形彫り放電加工機 AGシリーズの中で、より精密な加工が可能な機種として「AG40LP」を開発、2016年11月に開催されたJIMTOFにて展示いたしました。自動車部品やスマートフォン向けの金型の精密加工に適しております。3軸リニアモータ駆動による高剛性の実現や、放電安定システムの搭載による高速化、電極消耗の抑制、加工面質の多彩化など、高精度・高精密な加工が可能となります。

※製品の詳細につきましては、以下プレスリリースをご参照下さい。

URL : [http://www.sodick.co.jp/pdf/161116120626\\_20161116\\_NewsRelease\\_AG40LP.pdf](http://www.sodick.co.jp/pdf/161116120626_20161116_NewsRelease_AG40LP.pdf)



## 2 リニアモータ駆動 超精密ワイヤ放電加工機「AP450L (Oil)」販売開始

ワイヤ放電加工機 APシリーズの中で、微細精密分野の加工に適した油加工液仕様のモデルを新たに開発し、2016年11月に開催されたJIMTOFにて展示いたしました。

微細精密領域での、加工時間の短縮、仕上げ面の精度向上ならびにカット回数的大幅な削減を実現しています。

また、新型NC装置「SPW電源」の搭載により、操作性が向上しています。

※製品の詳細につきましては、以下プレスリリースをご参照下さい。

URL: [http://www.sodick.co.jp/pdf/161116120744\\_20161116\\_NewsRelease\\_AP450Loil.pdf](http://www.sodick.co.jp/pdf/161116120744_20161116_NewsRelease_AP450Loil.pdf)



## 2017年3月期3Q トピックス (受賞)

### 3 【食品機械】麺生地混合装置「エアロッカー式真空チャンバー」が2016年超「超」モノづくり部品大賞 機械部品賞を受賞 (モノづくり日本会議・日刊工業新聞社主催)

パスタや蕎麦などの麺に含まれる空気量を抑え、密度が高く歯応えのよい麺を作るために開発しました。「エアロッカー式真空チャンバー」は“真空脱気”と“回転押し”の機能を完全に独立、分離しています（業界初）。混合や押し出しの前段階で麺生地を真空状態にするため、空気の含有量を効果的に抑えることが出来ます。

「エアロッカー」は業界初の回転ロータリータイプを採用し、従来の方式よりも密閉状態が作りやすく、安定した真空圧力を維持できます。

本賞では当社技術の独創性・優位性が評価されました。

加えて、麺生地付着抑制のための特殊コーティングや、2チャンバーに透明な着脱可能な外壁構造を取り入れたことなど、清掃性やメンテナンス性も評価されました。

麺生地混合装置



表状を受け取る常務取締役 大迫 健一  
(食品機械事業担当)

### 4 【産業機械】アルミニウム合金対応射出成形機「ALM450」が2016年「十大新製品賞」本賞を受賞 (日刊工業新聞社主催)

アルミニウムの造形はダイカストによるものが一般的ですが、歩留まりが悪く、空気を巻き込み気泡が発生するなどの課題がありました。「ALM450」は、従来のダイカスト方式から「射出成形」へ転換することにより、ダイカスト方式の課題を解決し、アルミニウムへの材料置換を促進する革新的な製造方法です。

本賞では、スマートフォンやタブレットの筐体の軽量化や自動車部品の軽量化など、積極的に量産現場への導入が期待され、新たな射出成形の分野を開拓した点が高く評価されました。

この賞は、日刊工業新聞による優秀新製品の開発奨励と日本の産業界の技術水準の向上に資することを目的とし、独創的な発明で国内外で反響の大きかったものや、性能が世界最高水準に達しているもの、モノづくり産業の発展や国際競争力の強化に役立つとみられるものなどに授与されます。

※受賞の詳細につきましては、以下プレスリリースをご参照下さい。

URL: [http://www.sodick.co.jp/pdf/170118141140\\_20170118\\_NewsRelease\\_ALM450.pdf](http://www.sodick.co.jp/pdf/170118141140_20170118_NewsRelease_ALM450.pdf)



賞状を受け取る代表取締役会長 古川 利彦





### 5 DMP2016 (第18回中国東莞国際金型・金属加工・プラスチック・包装展覧会) 出展

DMPは電子部品関連企業が集積する中国華南地区で最大規模の展示会であり、当社ブースにおいても、最新のワイヤ放電加工機ALシリーズによる高精度・高板厚の精密加工の実演や、射出成形機による車載用狭ピッチコネクタなどの付加価値の高い小物部品の成形を行うなど、当社の強みである高精度・高精密加工をアピールいたしました。その他、マシニングセンタや加工サンプルも展示し、多くのお客様にご覧いただきました。

#### 【DMP2016 概要】

開催場所：中国 広東省 東莞

開催期間：2016/11/29-12/2 (4日間)

出展機種：ワイヤ放電加工機 ALシリーズ、形彫り放電加工機 AG40L、  
射出成形機 GL100A、LP20EH3 等

来場者数：110,052人



### 6 IMTEX2017 (Indian Metal-cutting Machine Tool Exhibition) 出展

インド・バンガロール市にて南アジア及び東南アジアで最大規模の金属切削工作機械・製造技術見本市である「IMTEX2017」に、リアモータ駆動 高速ワイヤ放電加工機「VZ400L」やリアモータ駆動 高速・高性能形彫り放電加工機「AG40L」のほか、各種消耗品などを展示いたしました。

#### 【IMTEX2017 概要】

開催場所：インド、バンガロール市

開催期間：2017/1/26-2/1 (7日間)

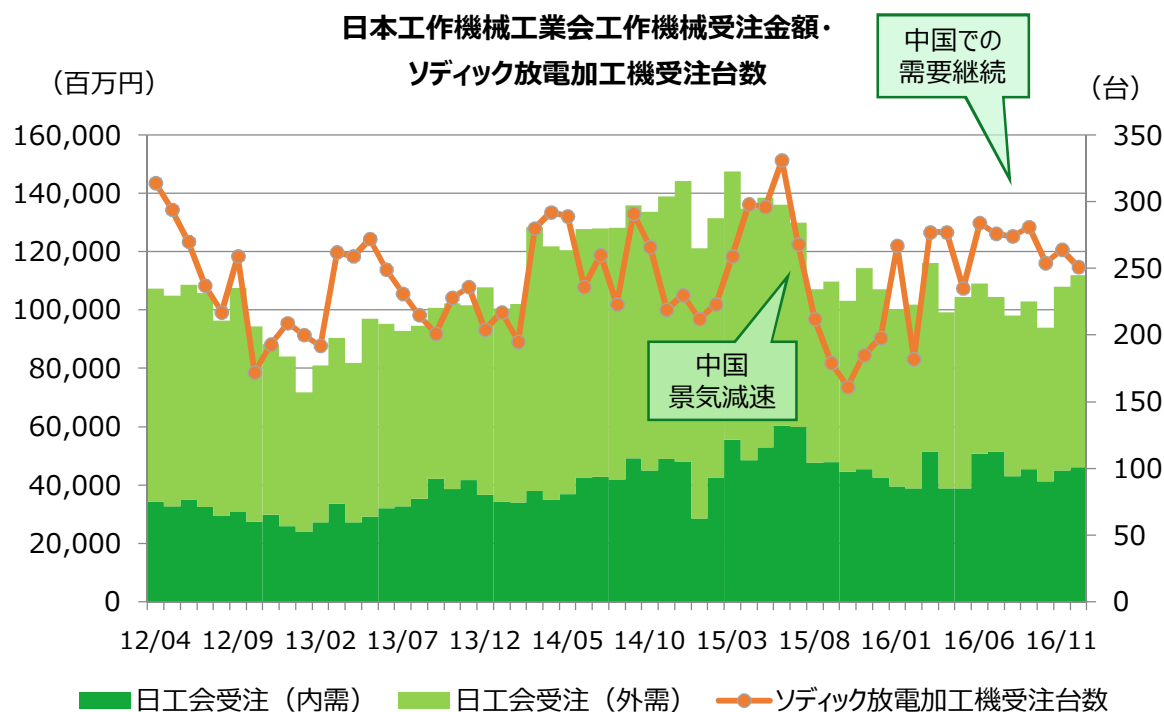
出展機種：ワイヤ放電加工機 VZ400L、形彫り放電加工機 AG40L 等



## **Ⅱ. 2017年3月期 通期業績見通し**

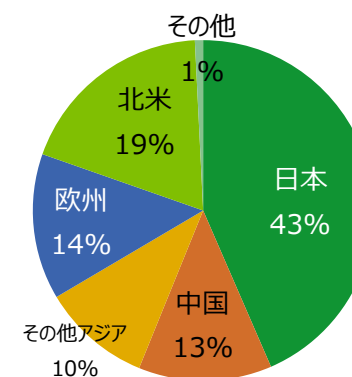


- ✓ 国内：政府の補助金政策や老朽化設備の更新需要により、堅調な需要が継続する見通し。
- ✓ 北米：自動車、航空宇宙、医療機器関連の設備投資需要が底堅く、堅調に推移する見通しはあるものの、米国新政権の経済政策の影響など不確定要素も多く、先行きに不透明感がある。
- ✓ 欧州：自動車、航空宇宙関連の需要は堅調に推移する見通しはあるものの、ロシアなどでは減速感が見られる他、イギリスのEU離脱問題や欧州各地での国政選挙などの地政学リスクもあり先行きに不透明感あり。
- ✓ 中国：成長率鈍化の影響もあり、総じて減速感が見られ、先行きに不透明感がある。  
ただ、人件費の高騰等を背景に自動化への対応、より高精度な機械の需要の増加が見込まれている。
- ✓ アジア：新興国経済はタイ、インドネシアなどでは自動車関連を中心に回復の兆しが見られる。



出典：日本工作機械工業会

**日本工作機械工業会  
工作機械 地域別受注構成比  
(2016年4月-2016年12月累計)**



出典：日本工作機械工業会

## 2017年3月期 通期業績予想

- ✓ 受注状況は順調に推移していることから、通期業績予想は据え置く。
- ✓ 第3四半期末時点では、通期予想に対し進捗率は低いものの、足元では受注は計画以上に推移しており、期末にかけて収益性は改善していく見込み。

(百万円)

	2016年3月期		2017年3月期 3Q		2017年3月期 通期		前期比		通期予想 進捗率
	実績	利益率	実績	利益率	予想	利益率	金額	増減率	
売上高	65,146	-	44,294	-	61,100	-	△ 4,046	△ 6.2%	72.5%
営業利益	6,353	9.8%	3,346	7.6%	5,350	8.8%	△ 1,003	△ 15.8%	62.6%
経常利益	5,719	8.8%	2,864	6.5%	4,550	7.4%	△ 1,169	△ 20.4%	63.0%
当期純利益	4,167	6.4%	2,488	5.6%	3,500	5.7%	△ 667	△ 16.0%	71.1%
ROE	8.4%								

期中平均 為替レート	ドル	120.15 円	106.60 円	104.19 円
	ユーロ	132.60 円	117.98 円	116.26 円
	人民元	19.21 円	16.44 円	16.00 円
	バーツ	3.44 円	3.03 円	2.96 円

※上記 2017年3月期通期業績予想は8月10日に修正発表したものです。

詳細につきましては、平成28年8月10日公表の「業績予想の修正及び営業外費用（為替差損）の計上に関するお知らせ」をご参照ください。



# セグメント別 通期予想

(百万円)

	2016年 3月期 実績	2017年 3月期 3Q 実績	2017年 3月期 通期 予想	前期比		通期予想 進捗率	
				(額)	(率)		
売上高	● 工作機械事業	47,789	31,630	42,320	△ 5,469	△11.4%	74.7%
	● 産業機械事業	8,633	6,111	8,680	46	0.5%	70.4%
	● 食品機械事業	3,562	2,253	4,100	537	15.1%	55.0%
	● その他事業	5,161	4,299	6,000	838	16.2%	71.7%
		65,146	44,294	61,100	△ 4,046	△6.2%	72.5%
セグメント 利益	● 工作機械事業	7,113	4,237	6,240	△ 873	△12.3%	67.9%
	● 産業機械事業	319	199	280	△ 39	△12.5%	71.3%
	● 食品機械事業	492	171	460	△ 32	△6.6%	37.2%
	● その他事業	813	663	820	6	0.8%	80.9%
		8,739	5,271	7,800	△ 939	△10.7%	67.6%
調整額	△ 2,386	△ 1,924	△ 2,450	△ 63	-	-	
営業利益 合計	6,353	3,346	5,350	△ 1,003	△15.8%	62.6%	

## 工作機械事業

- ✓ 国内は補助金待ちの影響もあり足踏み状態が続く見通し。
- ✓ 北米・欧州は設備投資需要は堅調に推移する見通し。
- ✓ 中華圏は、自動車、スマートフォン関連向けの高精度機の需要が引き続き好調に推移する見通し。
- ✓ 東南アジアは厳しい状況が続いているものの、タイ・インドネシアなどの自動車関連を中心に回復の兆しあり。

## 産業機械事業

- ✓ 国内市場は自動車を中心に堅調に推移する見通し。
- ✓ 中華圏およびアジア地域ではスマートフォン、コネクタ関連向けの高精度な機械需要が増加しており、足元の受注は過去最高水準。

## 食品機械事業

- ✓ 国内向けは期末にかけて検収が集中するため第3四半期末時点では進捗率は低いものの、概ね計画通りに進捗中。

## その他事業

- ✓ 精密金型・精密成形事業及びセラミックスの外販も引き続き堅調に推移する見通し。

※上記 2017年3月期通期業績予想は8月10日に修正したものです。

**(参考資料)**



# 国内外の拠点



## 主な展示会への出展情報

✓ 国内外の展示会へ参加し、積極的な営業活動を展開いたします。

期間	開催地		展示会	概要
10/6~8	ベトナム	ホーチミン	Metalex Vietnam (ベトナム国際工作機械・加工展)	
11/17~22	日本	東京	JIMTOF2016 (第28回 日本国際工作機械見本市)	世界三大工作機械展示会
11/23~26	タイ	バンコク	Metalex Thai (タイ国際工作機械・加工展)	
11/24~26	日本	横浜	日本ダイカスト展	
11/29~12/2	中国	東莞	東莞DMP2016 (東莞国際金型・金属加工展覧会)	
12/16~19	インドネシア	ジャカルタ	MachineTools Indonesia	
1/26~2/1	インド	バンガロール	IMTEX 2017 (Indian Metal-cutting Machine Tool Exhibition)	
3/7~11	韓国	ソウル	INTERMOLD KOREA 2017 (第23回 韓国国際金型関連設備展)	
3/7~12	台湾	台北	TIMTOS 2017 (台北国際工作機械見本市)	
4/5~7	日本	東京	高機能プラスチック展	
4/12~15	日本	東京	INTERMOLD 2017 (第28回 金型加工技術展)	
4/17~22	中国	北京	CIMT 2017 (第15回 中国国際工作機械展覧会)	
5/16~19	中国	広州	CHINAPLAS 2017 (第31回 国際プラスチック・ゴム産業展)	
6/13~16	日本	東京	FOOMA JAPAN 2017 (国際食品工業展)	

本資料は、情報提供のみを目的として作成するものであり、当社株式の購入を含め、特定の商品の募集・勧誘・営業等を目的としたものではありません。

本資料で提供している情報は、金融商品取引法、内閣府令、規則並びに東京証券取引所上場規則等で要請され、またはこれらに基づく開示書類ではありません。

本資料には財務状況、経営結果、事業に関する一定の将来予測並びに当社の計画及び目的に関する記述が含まれます。このような将来に関する記述には、既知または未知のリスク、不確実性、その他実際の結果または当社の業績が、明示的または黙示的に記述された将来予測と大きく異なるものとなる要因が内在することにご留意ください。これらの将来予測は、当社の現在と将来の経営戦略及び将来において当社の事業を取り巻く政治的、経済的環境に関するさまざまな前提に基づいて行われています。

本資料で提供している情報に関しては、万全を期しておりますが、その情報の正確性、確実性、妥当性及び公正性を保証するものではありません。また予告なしに内容が変更または廃止される場合がありますので、予めご了承ください。

<本資料に関するお問い合わせ先>

株式会社ソディック 経営管理部

〒224-8522 神奈川県横浜市都筑区仲町台三丁目12番1号

TEL : 045-942-3111 FAX : 045-943-5835